

くじゅう地区管理運営協議会

平成 29 年度 活動報告



目次

I. 長者原ビジターセンター等運営管理業務	
1. 長者原ビジターセンター利用状況	
(1) 入館者数	2
(2) ハイビジョン映像上映回数	3
2. 利用案内と展示・自然ふれあい事業	4
(1) 利用案内と国際化	4
(2) 館内展示および自然ふれあい事業	5
① 常設展示	5
② 企画展示	9
③ 自然ふれあい事業	11
a) タデ原の自然観察会	11
b) タデ原のミニガイドウォーク及び 国立公園レクチャー	12
c) 視察研修対応	13
④ 館内維持管理業務	13
II. 教育・普及啓発活動	
1. 普及啓発活動	14
(1) 各種イベント	14
(2) 広報活動	17
2. 環境教育活動	24
III. 自然環境保全・調査活動	
1. 自然環境保全活動	27
2. 調査活動	28
IV. 登山道等管理活動	
1. 登山道保全活動	29
2. 長者原周辺の美化清掃活動	30
(1) 清掃業務	
(2) 園地管理業務等	
(3) タデ原湿原木道の保守業務	
V. その他	
1. くじゅうファンクラブ賛助会員・寄付制度	31
2. 職員研修実績	32
3. 新聞掲載記事	33
4. 地域の概要	35
5. 運営体制	36

I. 長者原ビジターセンター等運営管理業務

1. 長者原ビジターセンター利用状況

(1) 入館者数

- 平成 29 年度の来館者数は、121,163 人であった（前年度比：約 18%増）。
- 職員手作り展示の「ハンズ・オンコーナー」や「企画展示」などの展示活動を充実させた結果、昨年度よりも来館者数が増加した。平成 28 年度に発生した熊本地震の影響のため、入館者数は平成 27 年ベースには至らなかったが、少しずつ回復傾向にある。7 月には日田・朝倉を中心とする集中豪雨が発生し、公共交通機関や道路が寸断された影響で、8 月の入館者が伸び悩んだ。
- 国立公園満喫プロジェクトを受けて、国立公園くじゅう地域の情報発信・案内業務の国際化（英語中心）に努めた。手作り展示も英語併記や英語解説シートを設置するなど、海外の人も楽しめるよう工夫した。

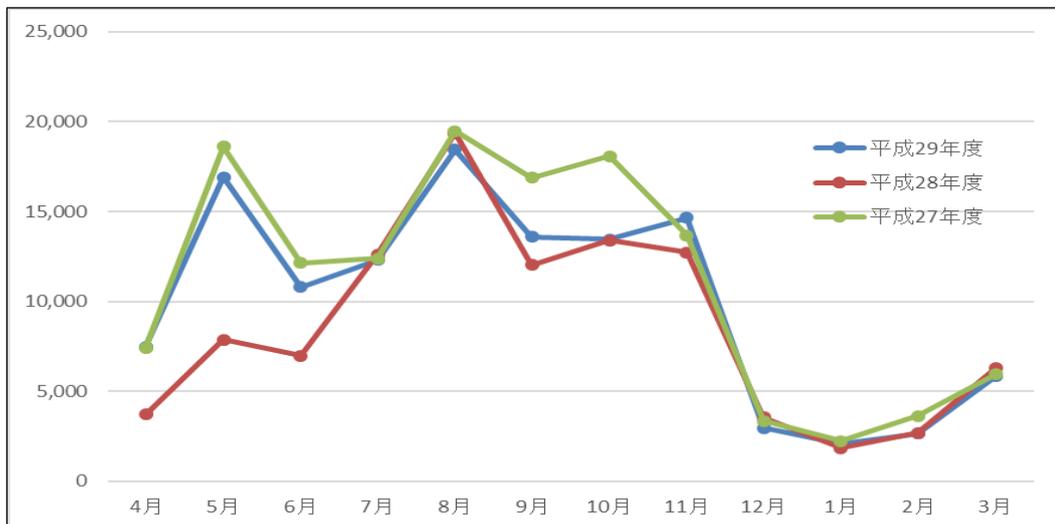


館内利用の様子

来館者数一覧表（平成 27 ～ 29 年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
平成29年度	7,472	16,905	10,798	12,310	18,444	13,596	13,438	14,658	2,964	2,082	2,650	5,846	121,163
平成28年度	3,708	7,881	6,992	12,611	19,363	12,016	13,380	12,734	3,549	1,839	2,675	6,271	103,019
平成27年度	7,416	18,599	12,133	12,397	19,477	16,893	18,086	13,672	3,355	2,227	3,623	5,953	133,831

来館者数推移（平成 27 ～ 29 年度）



(2) ハイビジョン映像上映回数

- ・平成29年度ハイビジョン映像上映回数は903回、延べ人数7,375人（前年度比：約18%増）。
- ・職員が直接外国人利用者に対して、多言語でも上映可能であることを積極的に働きかけた。

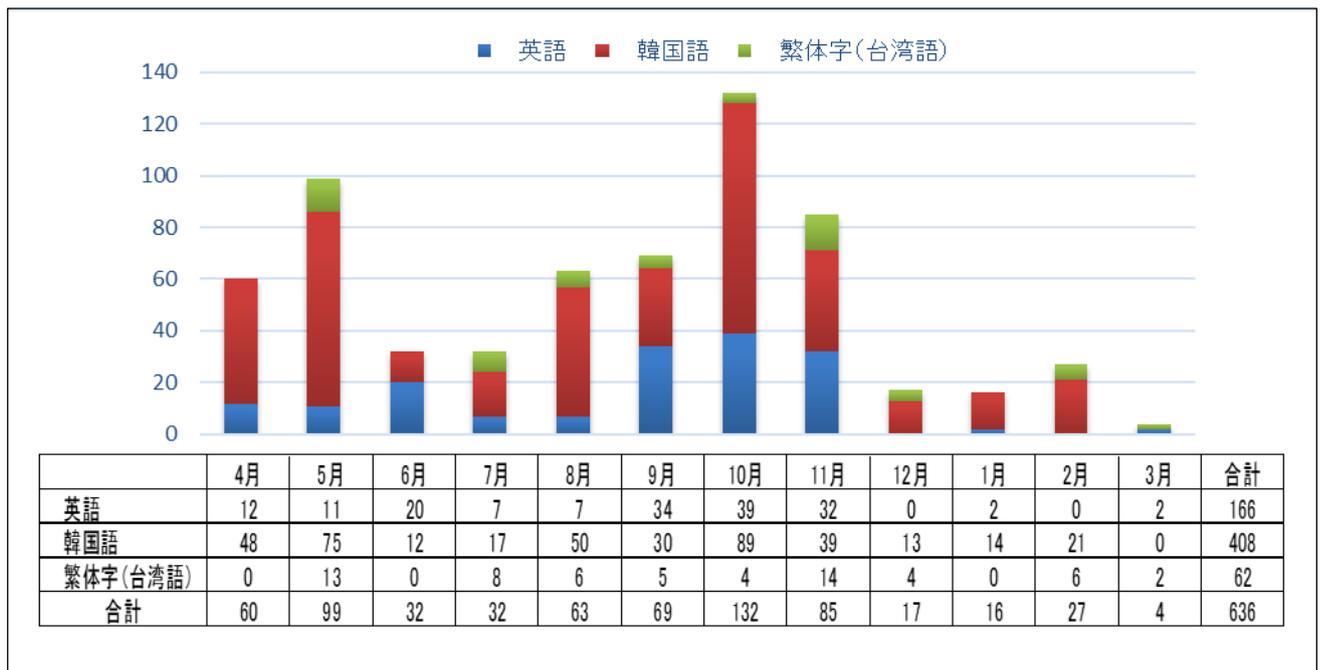
ハイビジョン映像上映人数一覧表（平成27～29年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
平成29年度	626	880	575	829	1,039	645	1,053	1,149	137	56	187	199	7,375
平成28年度	155	240	414	802	1,264	537	944	1,054	175	46	132	433	6,196
平成27年度	582	1,318	1,286	876	1,114	1,123	942	1,598	290	127	135	292	9,683

ハイビジョン映像上映人数推移（平成27～29年度）



外国語上映人数内訳（平成29年度）



2. 利用案内と展示・自然ふれあい事業

(1) 利用案内

- ・長者原ビジターセンターカウンターにて、国立公園の利用案内および自然情報等の提供を行った。
- ・英語での利用案内・解説ができる自然解説員を、週5日配置し、利用案内の国際化に努めた。
受付カウンターに韓国語・英語での対応ができることをはっきり表示した。
- ・登山道案内をわかりやすくするために、登山道の状況を写真でつづった登山道案内シートを作成・利用した。
- ・英語でのミニガイドウォークもできることを掲示した。
- ・子供たちが楽しめるような館内アクティビティを設置した。(クイズラリー・スタンプラリー・足跡探し等)



受付カウンターでの利用案内の様子



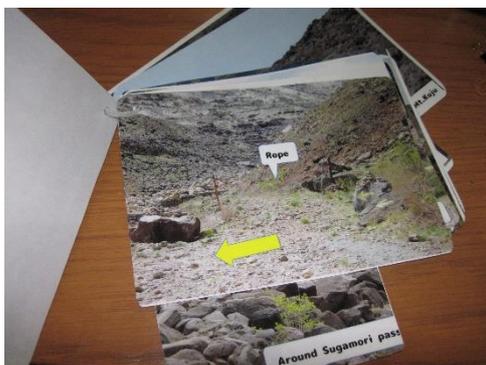
くじゅう連山自然情報



外国人に対する利用案内の様子



多言語対応が可能なことを受付に掲示



登山道案内シート



ミニガイドウォークのお知らせ
(日本語・英語)

(2) 館内展示および自然ふれあい事業

① 常設展示

・下記の頻度で手作り展示を更新した。手作り展示や館内案内は英語併記を行い、展示・案内の国際化に努めた。

展示内容		展示箇所	頻度
お知らせコーナー	写真①	2階入口付近	随時
くじゅうの自然写真館	写真②	2階受付付近	月2回
登山のルールとマナー	写真③	2階受付付近	年7回
観光情報コーナー	写真④	2階受付付近	年4回
展望コーナー	写真⑤	2階展望スペース	随時
くじゅう連山自然情報	写真⑥	2階受付付近	随時
実物展示	写真⑦	2階受付付近	随時
ハンズオンコーナー	写真⑧	1階壁面付近	月1回
ワークテーブル	写真⑨	1階及び2階	年5回
くじゅう植物図録	写真⑩	1階野焼きコーナー横	随時
タデ原フィールドガイド	写真⑪	1階入口付近	月2回
キッズコーナー	写真⑫	1階階段横	随時
くじゅうの自然を支える活動	写真⑬	階段ボード	年4回
モニタリングサイト1000里地調査紹介	写真⑭	階段ボード	年4回
チームタデ原活動紹介	写真⑮	階段ボード	年5回

デジタルセンター2階

・2階はメイン入口となっており、来館者の出入りも多いため、自然に関する情報および登山道情報、展望を利用した休憩スペースを設置している。また、観光利用者や登山初心者向けに、登山の服装等のマナーや、周辺地域の観光情報等もわかりやすく紹介している。



① お知らせコーナー

センターからのお知らせ等を掲示した。



② くじゅうの自然写真館

くじゅう地域の旬な風景や生きものの写真を展示した。



③ 登山のルールとマナー

登山の初心者向けに、季節ごとの登山の服装や、注意点などの説明をした。



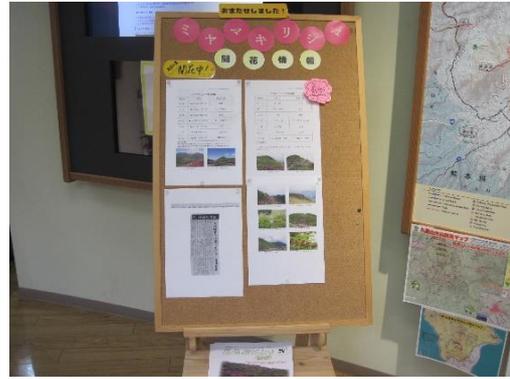
④ 観光情報コーナー

国立公園周辺の見どころ等を、カケスマップ(周辺観光マップ)や写真などを使って紹介した。



⑤ 展望コーナー

外の景色を眺めながらゆっくりできるコーナー。書籍や新聞、冬には毛布も置いて、ソファに座ってくつろいでもらえるようにした。



⑥ くじゅう連山自然情報

マンサクやミヤマキリシマの開花情報、紅葉情報など問い合わせの多いものを館内に掲示した。



⑦-1 実物展示

セミの抜け殻や、鳥の巣、マタタビの花や実、ドングリの芽が出たもの等の実物を置き、来館者が季節を感じたり、小さな発見をするコーナーを設置した。特にへびの抜け殻はビックリ箱のように作ったので、来館者がとても楽しんでた。



⑦-2 実物展示

ビジターセンター1階

- ・1階は、滞在時間が十分にある来館者が多く、タデ原湿原木道やくじゅう連山登山道につながる出入口となっているため、タデ原やくじゅう連山についての詳しい自然解説内容を展示した。



⑧ ハンズ・オンコーナー

実物に触ってみることが出来るハンズオンコーナー。くじゅうに生息する動物の剥製や、シカの頭蓋骨、岩などを展示した。



⑨ ワークテーブル

来館者参加型の展示。新緑の葉っぱ作りや、昆虫の切り絵、色紙を使ったメッセージカード、七夕飾り作りなどを行った。



⑩ くじゅうの植物図録

くじゅう地域のボランティア団体、九重の自然を守る会が作成した植物図録を、職員が季節ごとに入れ替えて展示した。



⑪ タデ原フィールドガイド

今見られる植物や動物などを、楽しみ方の幅を広げる、職員手づくりの解説付きで紹介した。



⑫ キッズコーナー

自然関係の絵本やパズルなどを置き、子どもや親子連れがゆっくり遊べるコーナーにした。

階段

・2階の入り口から入ってきた来館者が、タデ原湿原や館内トイレに向かう動線上に階段があり、多くの来館者が自然と展示を目にする場所であることから、くじゅうで行われている自然保護活動等を普及啓発する内容を展示した。



⑬ くじゅうの自然を支える活動

登山道整備や外来種駆除活動など、くじゅう連山で行われた自然保護活動を紹介した。



⑭ モニタリングサイト 1000

九重の自然を守る会がタデ原で行っている植物モニタリング調査の様子を紹介した。



⑮ チームタデ原活動紹介

KODOMO ラムサールをきっかけに地元で立ち上がった「チームタデ原」(九重町の小中学生加入)の活動を紹介した。

クイズラリー・スタンプラリー

- ・来館者が展示を見ながら楽しめるアクティビティとして、今年度新しく始めたもの。特に、子どもたちが喜んで参加していた。参加者数はクイズラリーが 1,078 人、スタンプラリーが 1,883 人。
- ・学校や子ども会などの団体にとっても喜ばれた。
- ・シートは日本語と英語の 2 種類を用意している。
- ・できたものを受付でチェックし、オリジナルシールをプレゼントした。



クイズラリー・スタンプラリー
シート配布の様子



スタンプラリーの台 (全 6 か所)



クイズラリーやスタンプラリーの様子

展示の国際化対応

- ・手づくり展示については、英語での解説を作成し、外国人の対応に努めた。



② 企画展示

「くじゅう連山の修験道」

実施期間：平成 29 年 7 月～平成 29 年 9 月



くじゅう連山の修験道について紹介する企画展示。法華院山荘付近の、修行僧の掘った碑文の拓本展示や、修験者の衣装（猪鹿狼寺協力）のほか、江戸時代に描かれたくじゅう連山の絵図も合わせて展示した。その他、くじゅう連山の修験道に関するパネルクイズや、江戸時代にくじゅうを訪れた僧の紀行文「九重山記」（法華院協力）の書物の全文写真を紹介。拓本は大きさも大きく、来館者の目を引く展示となっており、通りがかった人は、足を止めて興味深そうに展示を眺めていた。

「くじゅうの花」

実施期間：平成 29 年 7 月～平成 29 年 9 月



くじゅう連山一帯で花が多く来館者も多い時期に、くじゅうの花々の写真を季節ごとに分けて、展示した。花好きな人たちが足を止めて、花の名前をチェックしたり、談笑したりしながら、展示を楽しんでいた。

「アクティブレンジャー展」

実施期間：平成 29 年 10 月～平成 29 年 12 月



くじゅう管理官事務所のアクティブレンジャーによる、九州各地の国立公園を紹介した写真展。入口付近に設置したので、たくさんの人が見ていた。

「タネの世界」

実施期間：平成 29 年 10 月～平成 29 年 12 月



花の季節がほぼ終わり、植物の実やタネが多く見られる時期にいろいろな植物のタネを紹介した展示。タネの展示の他、顕微鏡やルーペでタネを観察するコーナー、ドングリのコーナーなど、実物を見て触って楽しめるものにした。たくさんの来館者が展示してあるものを手に取って眺めたり、顕微鏡をのぞき込んだりと、興味を持って見ている様子が見られた。英語の解説も付けて外国からの来館者も楽しめるようにした。

「ビジターセンター職員こだわり写真展」

実施期間：平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月



ビジターセンター職員それぞれが、コメント付きでくじゅう地域のおすすめの風景や生きものの写真を紹介展示したもの。来館者が気に入った職員の展示にシールをはれるようにしたところ、写真をよく見て楽しんでいる様子が見られた。

③ 自然ふれあい事業

a) タデ原の自然観察会

- ・平成 29 年度の自然観察会開催回数は 45 回、参加者数は延べ 632 人。（前年度比：約 40%増）
- ・九重の自然を守る会の会員や、くじゅう地区パークボランティアがボランティアガイドを行う。
- ・今年度は特に、団体参加者よりも個人参加者が増えたようだった。

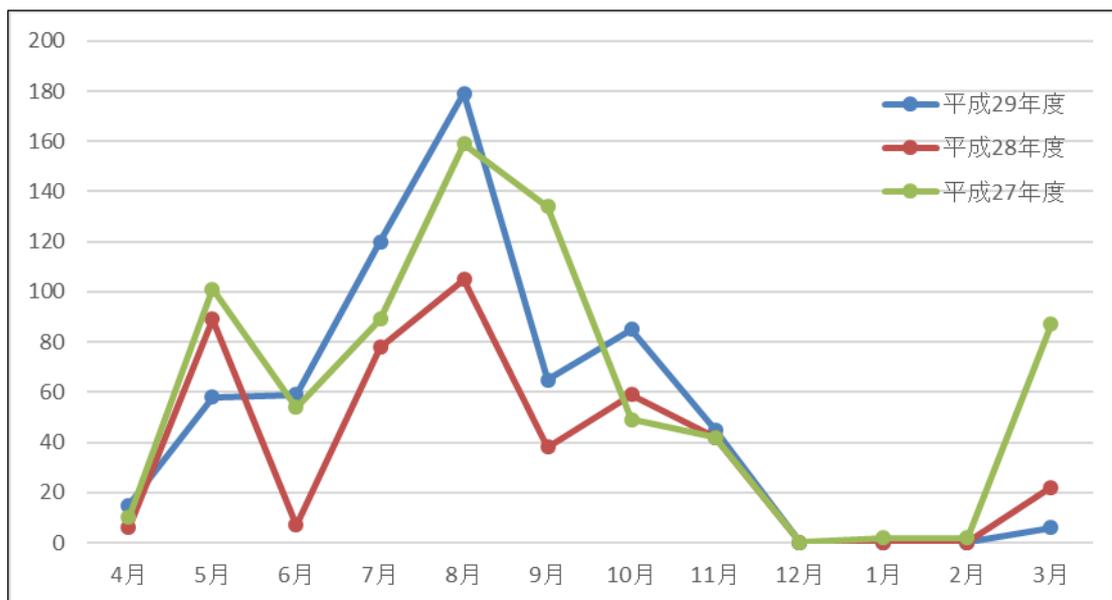


自然観察会の様子

自然観察会参加者数一覧（平成 27～29 年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
平成29年度	15	58	59	120	179	65	85	45	0	0	0	6	632
平成28年度	6	89	7	78	105	38	59	42	0	0	0	22	446
平成27年度	10	101	54	89	159	134	49	42	0	2	2	87	729

自然観察会参加者数推移（平成 27～29 年度）



b) タデ原のミニガイドウォーク及び国立公園レクチャー

タデ原のミニガイドウォーク

- ・ビジターセンター職員がタデ原を 30 分で案内するもの。参加費は 100 円。ビジターセンター開館日の毎日 11:00～と 14:00～の 2 回開催。
- ・今年度の開催数は 51 回、利用者延べ 139 人。(前年度比: 約 14%増)



タデ原のミニガイドウォークの様子

国立公園レクチャー

- ・ビジターセンターを利用する学校や団体に対し、ビジターセンター職員が国立公園やタデ原について解説を行うもの。参加人数等に応じて、30 分程度のレクチャーを行っている。
- ・国立公園レクチャーの受け入れ回数は 34 回、利用者延べ 1,575 人。(前年度比: 約 270%増)
- ・昨年度に比べると、団体での国立公園レクチャー依頼が大幅に増えた。今後も利用を促進していきたい。



国立公園レクチャーの様子



留学生向けの英語での国立公園レクチャーの様子

平成 29 年度 国立公園レクチャー一覧

日にち	曜日	概要	参加者数
4月26日	日	大分県立由布高等学校	134
4月26日	日	私立慶進高等学校(山口県)	74
5月9日	火	旅ドキ会	12
5月19日	金	豊後大野市立清川中学校	15
5月24日	水	久住高原みちくさ案内人倶楽部一行	20
5月28日	日	くじゅうネイチャーガイドクラブ一行	7
6月7日	水	西梅林シニアクラブ	19
6月19日	月	大分市立領田中学校	120
6月22日	木	由布市立湯布院中学校	60
7月12日	水	東久留米市立久留米中学校	120
7月31日	木	中津市立城井小学校	22
8月10日	木	九重町立緑陽中学校	69
8月26日	土	由布くぬぎの森	25
8月28日	月	ABC野外教育センター	18
8月31日	木	日田市立三芳小学校	60
9月9日	土	北九州市市民団体	47
9月13日	水	大分市立原川中学校	130
9月14日	木	吉富町外一市中学校組合立吉富中学校(福岡県)	90
9月19日	火	大分市民生委員会	18
9月20日	水	中津市三光公民館	26
9月27日	水	NHK文化センター福岡教室	20
10月7日	土	杵築市太田地区公民館	20
10月14日	土	大分大学国際交流センター	128
10月24日	火	九重町立飯田小学校	65
10月26日	木	国東市高齢者学級	51
10月28日	土	別府市退職者団体	32
10月29日	日	大分学研究会	17
11月5日	日	日田市民環境会議	22
11月11日	土	北九州市立大学	20
11月15日	水	福岡県退職者教職員協会	22
11月20日	月	伊万里交通バス(一般団体)	13
11月23日	木	北九州市立大学	23
11月26日	日	わくわく実験室ファミラボ	35
12月23日	土	エコアクト筑後川	21
合計			1575

c) 視察研修対応

- ・行政機関をはじめとする関係者の視察等の受け入れを随時行い、職員が館内展示や阿蘇くじゅう国立公園、タデ原の自然環境などについて解説を行った。
- ・国立公園満喫プロジェクトに関する視察が多く、海外メディアからの視察が増加した。
- ・平成 29 年度の受け入れ回数は 15 回、利用者数は延べ 107 人。



衆議院環境委員会 視察



日本国際湿地連合 視察（英語対応）

平成 29 年度視察研修受け入れ事業一覧

日にち	曜日	概要	参加者数
6月17日	土	フランスメディア	6
7月3日	月	九十九島ビジターセンター	2
7月19日	水	衆議院 環境委員会	30
8月29日	火	九重町役場インターン生	2
9月6日	水	国立公園満喫プロジェクト関係 JTB関係者	13
9月27日	水	大分県企画振興部依頼 タイ観光関係者	6
10月4日	水	国土交通省シーニックバイウェイ関係	3
10月4日	水	環境省土佐清水自然保護官事務所	4
10月14日	土	国土交通省事業 香港メディア	6
11月10日	金	宮島沼湿地センター	2
11月12日	日	日本国際湿地連合	22
11月30日	木	ツーリズム大分 イギリス人ライター	4
12月1日	金	別府・大分バリアフリー観光センター	4
12月4日	月	琵琶湖水鳥湿地センター	1
12月19日	火	環境省九州地方環境事務所	2
合計			107

④ 館内維持管理業務

- ・ビジターセンター館内は、閉館後にゴミ拾い、床のモップがけ、館内トイレ清掃を毎日実施した。
- ・年 1 回、清掃業者による特別清掃（ワックスがけ等）を実施した。



日常清掃の様子



特別清掃の様子

II. 教育・普及啓発活動

1. 普及啓発活動

(1) 各種イベント

もっと楽しい山歩き

- 開催日時：第1回目 8月26日(土)「地形図の読み方と楽しみ。①」
第2回目 9月16日(土)「登山での緊急時、あなたならどうする?」(荒天のため中止)
第3回目 9月30日(土)「地形図の読み方と楽しみ。②」

場所：長者原ビジターセンター1階会議室及びタデ原湿原周辺

- ・昨年度実施し好評であった山歩きイベントを今年も開催し、登山に対する意識向上や、国立公園の利用における普及啓発を目指した。
- ・実施回数は3回で計画したが、台風の接近のために9月16日の第2回目を中止したため、8月26日と9月30日の2回の実施となった。参加者数は延べ21名(内訳：第1回目11名、第3回目10名)。
- ・参加者の感想は、地図の読み方が理解できてよかった、実技もあってよかった等、おおむね好評であった。登山における地図の重要性を再認識し、登山に対する意識の向上につながったと思われる。
- ・さらに多くのテーマで講座を開催してほしいとの感想もあり、来年度も充実させていく方向で検討していきたい。



地図の読み方について説明



机上で作図



タデ原でコンパスワークの練習



登山道で実際に使用

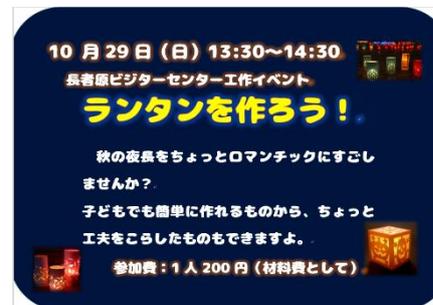
工作イベント ランタンを作ろう

開催日時：平成 29 年 10 月 29 日（日）13:30～14:30

場所：1 階ハンズオンコーナー

参加者：8 名

- ・落ち葉や昆虫の切り絵を使ってランタンを作るというイベントを、館内で実施したもの。
- ・雨の日だったので、散策をあきらめた人などが参加し、それぞれがオリジナルのものを楽しみながら作っていた。
- ・ビジターセンターに親しみをもってもらえるイベントでもあるので、今後も類似の工作イベントを考えていきたい。



製作の様子



完成したランタン

くじゅうフェス 2017

開催日時：平成 29 年 7 月 29 日（土）10:00～16:00

場所：長者原園地

- ・昨年に引き続き、長者原園地で開催されたイベント「くじゅうフェス 2017」（九重町主催）に出展した他、夜にイベントを実施したもの。
- ・出展は、「足跡さがし」と「塗り絵」コーナーを設けた。足跡探しは、動物の足あととプレートに紙をあてて上からクレヨンでこすると、足跡がうきあがるもの。出展テント周辺で足跡を探しながら参加できる形にした。動物の標本も合わせて展示した。子供たちは大変喜んでいました。
- ・イベントは、ビジターセンターを利用し、夜の星空を観察するイベント「星空さんぽ」を行った（参加者数 18 名）。ビジターセンター2 階の入り口から、剥製などの仕掛けがある薄暗い館内を歩いてもらい、タデ原を散策し、夜空を眺めた後、館内でプロジェクターを使いながら夏の星空に関する解説を行った。
- ・天候が良くなく、あまり星を見ることができなかったが、参加者の反応は良かった。今後も夜のイベントをできると良いと感じた。



園地での出展の様子（足跡探し）



星空さんぽ（ビジターセンター館内で説明中）

牧ノ戸峠 登山ミニレクチャー

開催日時：平成 29 年 6 月 4 日（日）6：30～9：30

6 月 10 日（土）7：30～9：30

10 月 29 日（日）7：30～9：30（開催を予定したが雨天のため中止）

11 月 3 日（土）7：30～9：30

場所：牧ノ戸峠登山口

- ・公園利用者への適切な利用促進の一環として、くじゅう連山最大の登山口として利用されている、牧ノ戸峠登山口において、「登山ミニレクチャー」を実施し、登山者に対する公園利用マナーの普及啓発を行った。
- ・呼びかけた内容は、服装点検、持ち物確認、登山届の提出、登山道の歩き方（植生保護のため）、ゴミの持ち帰り、下山時刻の確認、山のトイレの利用方法、旬のみどころや開花中の花の紹介など。同時に、登山届を提出するコーナーを設け、登山届の提出を促したほか、スタッフが登山コースの相談にのった。
- ・今年度は、ミヤマキリシマ繁忙期（6 月 2 回）、紅葉繁忙期（10～11 月 2 回）の計 4 回を計画したが、雨天のために 3 回の実施となった。
- ・ビジターセンター職員のほか、環境省くじゅう管理官事務所、大分西部森林管理署、玖珠警察署、大分県、九重町、九重ふるさと自然学校、くじゅうネイチャーガイドクラブ等の協力があり、各回 4～7 名体制で呼びかけを行うことができた。
- ・登山届提出を呼びかけることにより、登山計画の不備や、登山地図・ストックキャップ等の準備不足などについてアドバイスをすることができ、安全・適切な登山マナーの認識の向上につながった。



登山届を記入する登山者（6月）



呼びかけのようす（11月）

木道でのハーブ演奏

開催日時：平成 29 年 4 月 30 日（日）、7 月 22 日（土）、29 日（土）、8 月 12 日（土）、26 日（土）、

10 月 27 日（金）、11 月 5 日（日） 計 7 回

場所：タデ原湿原木道

参加者：延べ 203 名

- ・言語によらない国際化利用推進事業のひとつとして、木道を散策する人にアイリッシュハーブの音色を聴いてもらうイベントを実施した。
- ・通る人が立ち止まって聞いたり、ベンチに座ったり寝ころがったりしてハーブの音を背中で聞いてもらったり、ハーブの演奏体験をしてもらったりと、リラックスした雰囲気の中で自由楽しんでもらった。
- ・外国からの人もリクエスト曲などがあり、楽しんでもらえたようである。
- ・湿原の風景によくマッチしていて、とても癒されたという声や、またこういう機会を作ってほしいという要望が聞かれた。



ハーブ演奏のようす



子どもによる演奏体験

(2) 広報活動

① くじゅうファンクラブ（くじゅう地区管理運営協議会）ホームページ

平成 29 年度「最新情報」更新回数 26 回

- ・昨年度立ち上げたホームページ上で、くじゅうについての様々な情報提供をおこなった。「最新情報」のコーナーでは、協議会が関わった登山道整備活動や大分県主催の「山のトイレをきれいに使い隊運動」など、協議会が関係して行われたくじゅうを守る活動等について紹介した。
- ・次の点についてホームページを改善した。
 - ア 竹田市側から見たくじゅう連山マップを作成した。
 - イ くじゅう連山マップ上の登山口を、グーグルマップにリンクさせた。
 - ウ くじゅうの見どころ案内に、山中の見どころを追加した。



② くじゅうファンクラブ フェイスブック

平成 29 年度投稿回数：173 回

- ・くじゅう地区の最新の情報を幅広く提供することを目的に、およそ 2 日に 1 回のペースでフェイスブックに情報を掲載した。
- ・フォロワーの人数は、4 月 1 日の 3,126 人から 3,667 人へ 17% 増加した。各地のビジターセンターのフェイスブックページでは最大のフォロワー数となっている。
- ・ミヤマキリシマの開花情報、紅葉情報の時期にリーチ数が多く、最大 1 万 4 千回に達した。他にスズメバチに関する情報、九重町の臨時バスに関する情報、赤川の登山道復旧の情報等でリーチやシェアが多くなっており、登山者をはじめとするくじゅうへの観光客や旅行者に対する情報提供手段として有効に活用されていると考えられる。
- ・英語のコメントを併記することで、外国人からの反応も見られた。

③ くじゅうファンクラブ インスタグラム

平成 29 年度投稿回数：119 回

- ・くじゅう地区の美しい写真を通じて、国内外で幅広くくじゅう地区に関心を持ってもらうために、今年度 4 月 30 日からインスタグラムへの投稿を始めた。
- ・閲覧者も徐々に増え、フォロワー数が 229 人となり、「いいね」の人数も 150 人を超えるようになった。
- ・英語やハングルのハッシュタグをつけたため、海外からのコメントも多くみられた。くじゅうについての認知度を国内外に高めるために役立ったと考えられる。

くじゅうファンクラブ (阿蘇くじゅう国立公園 長者原ビジターセンター Aso-Kuju National Park) さんが写真3件を追加しました。

作成者: visitor@oct-net.ne.jp [?] · 2017年12月27日 · 🌐

登山者の皆様にお知らせです。平成28年4月の熊本地震以降通行禁止となっていた、赤川登山口～久住山の登山道の復旧工事が終わり、通行可能となりました。久住高原側から久住山への最短ルートです。詳細は、九州地方環境事務所の次のページをご覧ください。
<http://kyushu.env.go.jp/emergency/2017/12/20171220.html>
 シェア歓迎です。

【Trail Information】 The trail from Akagawa to Mt. Kuju, which has been closed since the earthquake in April 2016, is reopened.

4,785人にリーチしました

いいね! コメントする シェアする

西山薫吉さん、梅木 亘子さん、他371人

シェア40件

他2件のコメントを表示

宮本恭子 震災以来、心待ちにしていました。赤川温泉と併せて楽しめることに感謝して、登ろうと思います😊
 いいね! · 返信 · メッセージ · 5週間前

中野曉弘 去年赤川温泉から登ったら通行止めだった所ですね!
 いいね! · 返信 · メッセージ · 5週間前

コメントする...

フェイスブックによる登山道情報の提供の様子

chojabaru_visitorcenter · フォロー中

いいね! 153件

chojabaru_visitorcenter .
 沓掛山山頂付近からの眺め。

The view from the top of Mt.Kutsukake.

#阿蘇 #くじゅう #国立公園 #大分 #長者原 #くじゅう連山 #やまなみハイウェイ #登山 #自然 #散策 #風景 #aso #kuju #nationalpark #chojabaru #visitorcenter #mountains #japan #kyushu #oita #kuju #flowers #hiking #trekking #beautiful #nature #日本 #국립공원 #자연

1lsang_official 사진잘봤어용~~😊

eri_ena good♪☆

1日前

インスタグラムへの投稿の様子

⑤自然情報の提供

- 植物の開花や紅葉の進み具合を調べ、「自然情報」として館内に掲示するとともに、メーリングリスト登録者および近隣の観光案内所や施設に随時配布した。
- 今年度作成した自然情報は次の通り。
 - タデ原自然情報～5月から10月まで月2回、計12回
 - ツクシシャクナゲ開花情報～4, 5月に4回
 - ミヤマキリシマ開花情報～5, 6月に9回
 - 紅葉情報～10, 11月に5回
 - マンサク開花情報～3月に3回
- タデ原やくじゅう連山を訪れる人にとって役に立つ情報源となっている。今後もきめ細かな情報提供を心掛けながら継続していきたい。

タデ原湿原 自然情報 【2017/05/20】



15/14 ハルリンドウ 開花中



15/17 サワオグルマ 咲き始めました



15/17 ギンリョウソウ 森の中に多いです



15/17 ウマノアシガタ 開花中



15/17 マイヅルソウ 咲き始めました



15/17 青と黄のお花畑です

【リュウキンカはまだ咲いています。サクラソウはスキに埋もれています。】

— ガイドと一緒に、タデ原を歩くことができます！—

- タデ原の自然観察会
5～6月は毎週日曜・祝日 開催 10:00～（所要時間2時間）
- タデ原ミニガイドウォーク
毎日 開催 11:00～/14:00～（所要時間30分）、参加費100円
※都合により中止する場合があります。詳細はお問い合わせください。

長者原ビジターセンター (0973-79-2154)

平成29年10月25日
作成：くじゅう地区管理運営協議会
(くじゅうファンクラブ)

【くじゅう連山 紅葉情報】

調査日	場所	紅葉のようす
10/24	三俣山大鍋・小鍋	見頃です
★10/25	大船山山頂付近	落葉中です
10/25	段原～大船山	見頃です
10/25	黒岳（高塚・天狗）	見頃です

★登山者情報
最新情報はフェイスブックのページでどうぞ。 <https://www.facebook.com/choujubarvisitor/>



三俣山の紅葉 本峰から見た大鍋



三俣山 北峰付近



三俣山 小鍋



北大船から大船山を望む



黒岳 天狗



天狗山頂から見下ろした黒岳

2. 環境教育活動

KODOMO ラムサール継続事業「チームタデ原～ヒゴタイ子を守る会～」

- ・平成 27 年度にくじゅう地域で開催された KODOMO ラムサールをきっかけに、地元の小中学生で結成された、自然保護活動グループ（現在メンバーは中学生 2 名、小学生 10 名の計 12 名。今年度 6 名加入）。
- ・子どもが主体となった活動グループを目標とし、子どもたち自身で活動を計画・実行・振り返りを行う。その活動のサポートを、当協議会が行った。
- ・今年度は、2 ヶ月に 1 回のペースになるよう年間行事予定をたて、活動に取り組んだ。KODOMO ラムサール in 釧路湿原への参加や、佐賀県東よか干潟との交流会、坊ガツル学習会（1泊2日）、KODOMO 湿地交流 in 荒尾干潟などの活動を行った。

平成 29 年度 「チームタデ原～ヒゴタイ子を守る会～」活動一覧

開催日	概要
5月7日 日	タデ原1周～春編～
7月21日 金	タデ原1周～夏編～キッズガイドの練習
7月26日 水	キッズガイド(佐賀県鹿島干潟ラムサールクラブ)
7月31日 月	キッズガイド(ラボ・パーティ)
8月4日～6日 金～日	KODOMORAMSAAL in 釧路湿原
8月17日 木	佐賀県東よか干潟との湿地交流
9月30日～10月1日 土～日	坊ガツル学習会(1泊2日)
11月3日～5日 金～日	KODOMO湿地交流in荒尾干潟(中学生2泊3日、小学生1泊2日)
12月9日 土	新聞作り、草寄せ
2月24日 土	タデ原散策、センサーカメラデータ回収
3月4日 日	公民館祭り(活動発表)



東よか干潟交流会 キッズガイドの様子



坊ガツル学習会 登山風景



坊ガツル学習会 湧水地見学



KODOMO 湿地交流 in 荒尾干潟 干潟体験

KODOMO ラムサール in 釧路湿原

- ・ KODOMO ラムサールとは、ラムサールセンター（東京）が主催し、全国のラムサール条約登録湿地で進めている子供たちの環境教育・交流事業であり、これまでに 20 湿地で 28 回 1300 人以上の子どもが参加して大きな成果をあげてきたプログラムである。（平成 27 年度には「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」で開催）
- ・ 今年度は、北海道鶴居村にあるラムサール条約登録湿地「釧路湿原」を中心に、2泊3日でプログラムが行われ、チームタデ原から 2 名のメンバーを派遣した。
- ・ 全国各地から総勢 32 名の子どもが集まり、お互いの湿地紹介や浜頓別町の各地でフィールドワークを行い、KODOMO 会議を通して鶴居村の「6つの宝」を探した。
- ・ 参加したメンバーは、昨年参加した子ども 1 名、初めて参加した子ども 1 名だった。経験したことがあるメンバーは、班をまとめる役割を担っていた。初めて参加した子どもも最後まで活動を行うことができた。



釧路湿原散策



鶴居村の林業見学



ヤマベ（ヤマメ）釣り体験



牧場見学



班別会議の様子



完成したポスターと集合写真

総合学習支援活動

九重町及び竹田市で総合学習支援活動を実施しているが、今年は九重町立飯田小学校から依頼があり、講師の派遣やガイドの支援などを実施した。

○九重町立飯田小学校 6 年生

「将来の夢」というテーマで、自然に関わる職業である長者原ビジターセンターにおける実際の業務や、働く環境についての紹介を行った。また、タデ原についての総合学習の集大成として、夏休み期間中に一般のお客さんを案内するタデ原のキッズガイドをすることを目的に、ガイドの練習を実施したり、本番では一般のお客さんを案内する支援活動を行った。



○九重町立飯田小学校 4 年生

「身近な地域の特色」というテーマで、ラムサール条約登録湿地であるタデ原の概要について学ぶ、現地学習を実施した。タデ原についてのクイズシートを配布し、タデ原散策を行った。ジェットシューターを実際に背負って、野焼き体験なども実施した。



平成 29 年度 総合学習支援活動一覧

日にち	曜日	概要	参加者数
7月3日	月	飯田小学校6年生 ビジターセンターの仕事について	11
7月7日	金	飯田小学校3年生 タデ原の自然について	6
7月18日	火	飯田小学校6年生 タデ原キッズガイドの練習	11
7月29日	土	飯田小学校6年生 タデ原キッズガイド	11
8月11日	金	飯田小学校6年生 タデ原キッズガイド	11
合計			50

Ⅲ. 自然環境保全・調査活動

1. 自然環境保全活動

(1) オオハンゴンソウの駆除活動

特定外来種であるオオハンゴンソウがタデ原周辺でも増殖し、問題になっている。今年もくじゅう地区管理運営協議会の会員等と連携しながら、主として夏季期間中にタデ原湿原周辺のオオハンゴンソウの駆除活動を実施した。

- 5月13日 オオハンゴンソウ駆除 九重ふるさと自然学校主催【道具貸し出し】
- 5月19日 オオハンゴンソウ駆除打ち合わせ会議【職員が出席】
- 7月8日 オオハンゴンソウ駆除 飯田地区まちづくり協議会主催【職員が参加】
- 7月22日・23日 オオハンゴンソウ駆除 環境省グリーンワーカー事業【職員が参加】
- 8月6日 オオハンゴンソウ駆除 九重の自然を守る会主催⇒雨のため中止
- 9月3日 オオハンゴンソウ駆除 九重の自然を守る会主催【道具貸し出し】
- 9月10日 オオハンゴンソウ駆除 九重の自然を守る会主催【道具貸し出し】
- 10月28日 オオハンゴンソウ駆除 三井住友海上火災主催【事務局(九重町)が解説】
⇒雨のためビジターセンター内で研修等を実施した



7月8日 まちづくり協議会主催



7月22日 環境省グリーンワーカー事業



10月28日 三井住友海上主催

(2) 美化清掃活動

自然公園クリーン作戦等に協力し、美化意識の普及啓発を行ったほか、随時、長者原登山口や牧ノ戸峠登山口周辺のゴミ拾い活動を行った。ゴミには、たばこの吸い殻やビニール袋などが多くみられた。今後は、ゴミの持ち帰りを進めるための啓発活動（ポスター、看板、呼びかけ等）を検討していきたい。

(3) 野焼き活動

くじゅう地区では、草原景観の維持と希少種の保護などを目的に各地で野焼きが実行されている。協議会としては、飯田高原野焼き実行委員会と協力し、次の野焼き活動を支援した。

- 4月5日 タデ原前野焼き
- 4月5日 やまなみハイウェイ前野焼き
- 4月14日 大將軍・一目山野焼き
- 4月23日 泉水山野焼き
- 11月14日 タデ原防火線切り
- 11月19日 タデ原防火線切り
- 11月～1月 タデ原防火線草寄せ
- 3月25日 大將軍・やまなみハイウェイ沿い野焼き



4月5日 タデ原前野焼き



4月14日 大將軍野焼き



4月23日 泉水山野焼き

(4) 九重町自然環境保全推進委員会

九重町の自然環境保全推進委員会に委員として参加し、生物多様性ここのえ戦略の推進や、戦略に基づいた啓発事業の策定に協力した。

2. 調査活動

(1) モニタリングサイト 1000 里地調査

- ・環境省の「モニタリングサイト 1000 里地調査 植物相」にタデ原を登録し（調査主体：九重の自然を守る会）、平成 25 年度～平成 29 年度（5 年間）まで継続して調査を行った。平成 29 年度もこれまで同様に 9 回（3～11 月に毎月 1 回）実施した。
 - ・調査の事務局はビジターセンター職員が担い、調査データの整理、調査票の準備、調査結果の報告などの業務を行った。また、調査の様子を館内に展示することで、一般利用者にも活動内容を知ってもらうように努めた。
 - ・タデ原調査地でのモニタリング種数は 231 種^(※)であり、そのうち環境省レッドデータ掲載種は 11 種、大分県レッドデータ掲載種は 28 種（ヒメユリ、ヒゴタイ、サクラソウ、キスミレ等）、外来生物は 13 種（オオハンゴンソウ、ヒメジョオン等）であった。昨年度に比べて大きな変化は見られなかったが、長期にわたって調査を継続していくことが重要であり、今後もモニタリングに協力していきたい。
- (※)イネ科、カヤツリグサ科、イグサ科を除く種子植物



調査前の説明



調査のようす（湿原区間）



調査のようす（森林区間）

(2) 長者原地区植物保全協議会

大分県のやまなみハイウェイ拡幅工事に伴う、長者原地区植物保全協議会に委員として参加し、やまなみハイウェイ沿線の植物相のモニタリング調査及び、工事方法について検討する会議に参加した。

IV. 登山道等管理活動

1. 登山道保全活動

(1) 登山道整備

- ・11月16日(木)、玖珠美山高校3年生の卒業記念として、くじゅう地区管理運営協議会会員と協力し下泉水山周辺の登山道保全整備活動を行った。

参加生徒からは、「卒業を前にいい思い出になった」、「今後も続けてほしい」等の感想があった。今後も会員の協力を得ながら登山道整備活動を継続していきたい。



土のう袋に土を入れる



板を置き、くいを打ち込む



整備された登山道

- ・くじゅうの自然に感謝する日にあわせて、6月3日に「九重の自然を守る会」が主催した吉部登山口～暮雨の滝登山道整備に協力した。



暮雨の滝周辺の登山道整備のようす

(2) 道標・山頂標柱交換

- ・登山道の老朽化している道標について、新たに3基の補修・交換を行った。また、破損個所のある山頂標識についても交換を行った。

本年度交換した道標および山頂標柱は次の通り。交換の際にはいずれも英語表記を併記し、外国人登山者にもわかりやすくなるようにした。

- ア 坊ガツル (雨ヶ池・吉部分岐)
- イ 北千里浜 (スガモリ越・坊ガツル・久住分れ分岐)
- ウ 空池西方 (天狗が城・久住山分岐)
- エ 中岳 (山頂標柱)

(3) 登山道についての情報収集・情報提供

- ・登山者から寄せられた登山道についての情報を集約し、環境省、林野庁、大分県等の関係機関に提供した。寄せられた情報は、倒木、スズメバチ、道標についての要望等である。また、登山道の状況については、一般の登山者などから多くの問い合わせがあり、これらについても丁寧な対応を心掛けた。

2. 長者原周辺の美化清掃活動

(1) 清掃業務

- ・長者原公衆トイレについて、職員による日常清掃を行った。とくにミヤマキリシマの時期・夏休み中・紅葉の時期などには1日に2回点検や清掃を行うなど対応を強化し、常に清潔なトイレが保たれるよう努めた。また、消臭剤を各便器に設置し、悪臭の改善に努めた。さらに、2月に特別清掃（便器のやすりがけ、スケールの除去等）を実施した。



トイレの日常清掃業務



消臭剤を設置



特別清掃時のやすりがけ

(2) 園地管理業務等

- ・長者原園地、駐車場及びその周辺において、ゴミ拾い等の清掃活動の他、管理者である環境省等による維持管理を補助する形で、植栽の剪定や草取り、芝刈り作業を随時実施した。また、タデ原周辺の自然歩道脇の草刈りを随時実施した。
- ・長者原園地周辺の落ち葉の清掃を行った。
- ・牧ノ戸峠駐車場および登山口においては、大分県による管理を補助する形で、随時ゴミ拾いをを行った。



駐車場のごみ拾い



長者原園地周辺の草刈り



植栽の剪定

(3) タデ原湿原木道の保守業務

- ・3月末に実施されるタデ原の野焼きに備え、タデ原湿原木道が延焼しないよう、協議会会員等と協力して11月14日と19日に木道の周囲の防火線切りを行った。その後11月から1月にかけて草寄せの作業を行った。
- ・タデ原湿原木道を随時巡回し、異常個所がないかどうか確認するとともに、ごみ拾いをを行った。



防火線切り作業



草寄せ作業

V. その他

1. くじゅうファンクラブ賛助会員・寄付制度

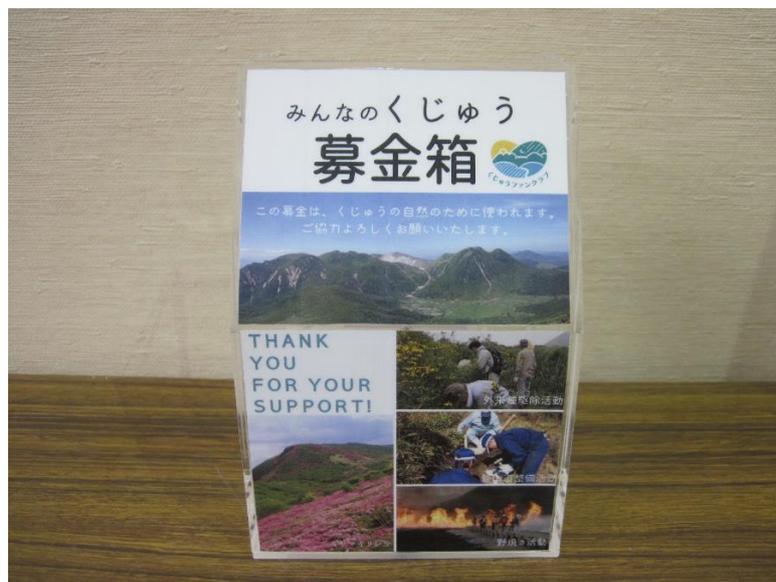
(1) 賛助会員制度

平成 28 年度にくじゅうファンクラブの賛助会員制度を立ち上げ、パンフレットの配布等で会員を募った。平成 29 年度現在、個人会員 40 件、団体会員 5 件。

(参考：平成 28 年度賛助会員 個人会員 30 件 団体会員 6 件)

(2) くじゅうファンクラブ募金箱の設置

くじゅう地区管理運営協議会の、賛助会員及び寄付制度の拡充に努めた。賛同してもらった施設に募金箱を設置し、協議会活動支援を募った。



2. 職員研修実績

(1) 普通救命講習

開催日時：平成 29 年 4 月 18 日 参加者：鳥越、山下、大島

概要：AED の使い方や、応急処置などの普通救命講習を受講したもの。

(2) コミュニティオーガナイズングジャパン

開催日時：平成 29 年 5 月 23 日(水) 参加者：種村、鳥越、山下

概要：コミュニティにおけるリーダーシップや関係構築に関する研修を実施したもの。

(3) ミュージアムキッズ！全国フェア

開催日時：平成 29 年 6 月 16 日～17 日 参加者：種村、鳥越

概要：熊本県装飾古墳館において開かれた、全国の博物展示施設が一同に会する「ミュージアムキッズ！全国フェア」に、長者原ビジターセンターとして展示・体験ブースを出展したもの。

(4) 夜の九博

開催日時：平成 29 年 9 月 1 日 参加者：山下

概要：ビジターセンターでの夜のイベントの参考に、九州国立博物館で開催されていた夜の九博イベントに参加したもの。

(5) 日本自然保護協会 自然観察指導員研修

開催日時：平成 29 年 9 月 9 日～10 日 参加者：種村、大島

概要：日本自然保護協会が主催する自然観察指導員研修会に参加し、自然観察会の手法やイベントの作り方について学んだもの。

(6) 九重町自然環境保全推進委員綾町視察

開催日時：平成 29 年 10 月 31 日～11 月 1 日 参加者：種村

概要：九重町の自然環境保全推進委員として、生物多様性戦略に基づく町づくりの先進地である綾町の視察研修に参加したもの。

(7) 大分自然環境研究発表会

開催日時：平成 29 年 12 月 16 日 参加者：山下

概要：大分大学で開催された、大分県内の自然環境の研究についての報告会に参加したもの。

(8) ビジターセンター意見交換会及び桜島ビジターセンター・えびのエコミュージアムセンター視察

開催日時：平成 29 年 12 月 18 日～20 日 参加者：種村

概要：EPO 九州が主催する、九州管内のビジターセンター担当者が一同に会するビジターセンター意見交換会（研修）に参加したもの。その際、桜島ビジターセンターやえびのエコミュージアムセンターでビジターセンターとしての自主財源確保についての視察を実施したもの。

3. 新聞掲載記事

九重町
修験道の歴史紹介
ビジターセンターで展示会

九重町田野の環境省長者原ビジターセンターで、くじゅう連山における修験道の歴史を紹介する展示が始まっている。9月末まで。入場無料。

修験道とは山に入って修行する、神道と仏教が混ざり合った宗教のこと。くじゅう連山はかつて修験道の山として栄えていた。

展示ではその歴史や経緯、信仰の中心となっていたスポットなどをクイズ形式で紹介。装束や江戸時代に書かれたくじゅう連山の地図、坊ガツル温泉のあせび小屋裏にある碑文の拓本（縦、横各3枚）なども展示している。

同センターは「信仰登山」として栄えていた当時を知

修験道の装束などを展示

観覧できるのは午前9時から午後5時。問い合わせは同センター（☎0973・79・2154）へ。

大分合同新聞
平成 29 年 8 月 1 日 (火)

「登山を楽しく」参加者募集
長者原ビジターセンターで講座

九重町田野の環境省長者原ビジターセンターで26日を目的とした講座「もっと楽しい山歩き」

参加を募集しているポスター＝九重町田野の長者原ビジターセンター

楽しい山歩き！が開かれる。同センターの主催。遭難が多発する紅葉シーズンを前に正しい山の歩き方や地図の読み方、緊急時の対応策などを、くじゅうネイチャーガイドクラブが指導する。

講座は同日と9月16、同30日の計3回。時間は午前10時から午後3時まで。座学の後、実地講座がある。参加者には記念品を贈る。1回からでも参加可能。対象は小学校高学年以上で毎回20人まで。メモ帳や筆記用具、登山できる服装などを

用意する。参加費は1回1500円。「イベントを通して楽しい登山の手法を学んでほしい」と同センター。

同センター（☎0973・79・2154）へ。

大分合同新聞
平成 29 年 8 月 12 日 (土)

ラムサール条約登録地のある九重、佐賀

タデ原温泉の散策などを通じて親睦を深め合う子どもら＝九重町田野

湿地保全「将来も共に」

ラムサール条約登録地がある佐賀市と九重町の子どもたちが17日、九重町田野のタデ原温泉で交流した。筑前川でつながる両者が親睦を深め合い、将来の環境保全について協力を誓い合った。

タデ原温泉は2005年、佐賀市東与賀町の東よか干潟は15年にそれぞれラムサール条約登録された。一昨年、坊ガツル温泉（竹田市）とタデ原温泉の条約登録10周年記念事業

以前から交流してきた友達とも会えて楽しかった。東よか干潟との共通点や違う点を整理して、地元の環境保全活動に生かしたい」と話していた。（日石直志）

「KOMORラムサール」を機に交流が始まり、昨年は東よか干潟で交流会を開いた。

今回はくじゅう地区管理運営協議会（会長・日野康志町長）の主催で、初めて九重町で開催。佐賀から14人、飯田地区から8人の小中学生と、引率者を加えた計約40人が参加した。

飯田地区の子どもたちは志で構成する「チームタデ原」がガイド役を務め、クイズを出しながら温泉の生態系や野焼きについて、佐賀の子どもたちに説明していた。

永松華奈さん（12）は「初めて訪れたが、緑が広がっていてとてもきれい。

大分合同新聞
平成 29 年 8 月 22 日 (火)



地形図の見方などを学ぶ参加者

紅葉シーズン控え
山歩きのコツ学ぶ
九重で講座、11人参加
環境省長者原ビジターセンター（九重町田野）で26日、登山の技術向上を目的とした講座「もっと楽しい山歩き」があった。遭難が多発する紅葉シーズンを前に同センターが開いた。

11人が参加。くじゅうネイチャーガイドクラブの増田啓次代表（59）がくじゅう連山の2万5千分の1の縮尺図を用いて、地形図の読み方やコンパスの使い方などを教えた。

地図上の1センチは実際の25センチに相当するため、ピンポイントで現在地を把握するのは難しいと指摘。「少し

でもおかしいと思ったら足をとめ、地図と照らし合わせるのが大切。おおよその現在地を把握するために、地図の読み方を覚えてほしい」と話した。

山で道に迷った経験のあるパート従業員河野正さん（69）＝大分市寒田＝は「地図の正しい読み方を再確認できて良かったと話した。

講座は9月16、30日にも開催する。参加希望者は同センター（☎0973・79・2154）へ。

大分合同新聞
平成 29 年 8 月 29 日（火）

卒業記念に登山道整備 玖珠美山高の3年生

2017/11/29 03:00

おすすめ0

ツイート

玖珠美山高校地域産業科3年生が卒業記念の一環でくじゅう連山の登山道を整備した。木材やスコップを背負って山に入り、修復作業に汗を流した。

生徒34人と九重の自然を守る会、環境省、くじゅうネイチャーガイドクラブなどの指導スタッフを加えた計約50人が参加。九重町田野の環境省長者原ビジターセンターで開会式後、泉水山へ向かった。

生徒は傾斜の厳しい場所や歩きづらい部分に木材を打ち込み、土のうを敷き詰めたほか、登山道にはみ出した笹や枝などを除去した。小野竜大さん（17）＝九重町野上＝は「きつかったが、達成感でいっぱい」と話した。



登山道に木材を打ち込む玖珠美山高校生

大分合同新聞
平成 29 年 11 月 29 日（火）

4. 地域の概要

阿蘇くじゅう国立公園は、九州のほぼ中央に位置し、周囲約 100km に及ぶ世界最大級の阿蘇のカルデラ地形と、その北東部に連なるくじゅう火山群、由布岳、鶴見岳からなる、火山地形と草原景観が特徴的な国立公園である。その中でも、くじゅう地域は「九州の屋根」とも呼ばれ、1700 m 級の間山々が連なり、初夏はミヤマキリシマの花、秋は紅葉で山々が彩られる。また、山間の坊ガツル湿原・タデ原湿原は、国際的に重要な湿地として、ラムサール条約に登録されている。山麓の飯田高原・久住高原などの広大な高原と並び、湿地性・草原性の多様な草花や野鳥・昆虫など、多くの動植物でにぎわう場所となっている。

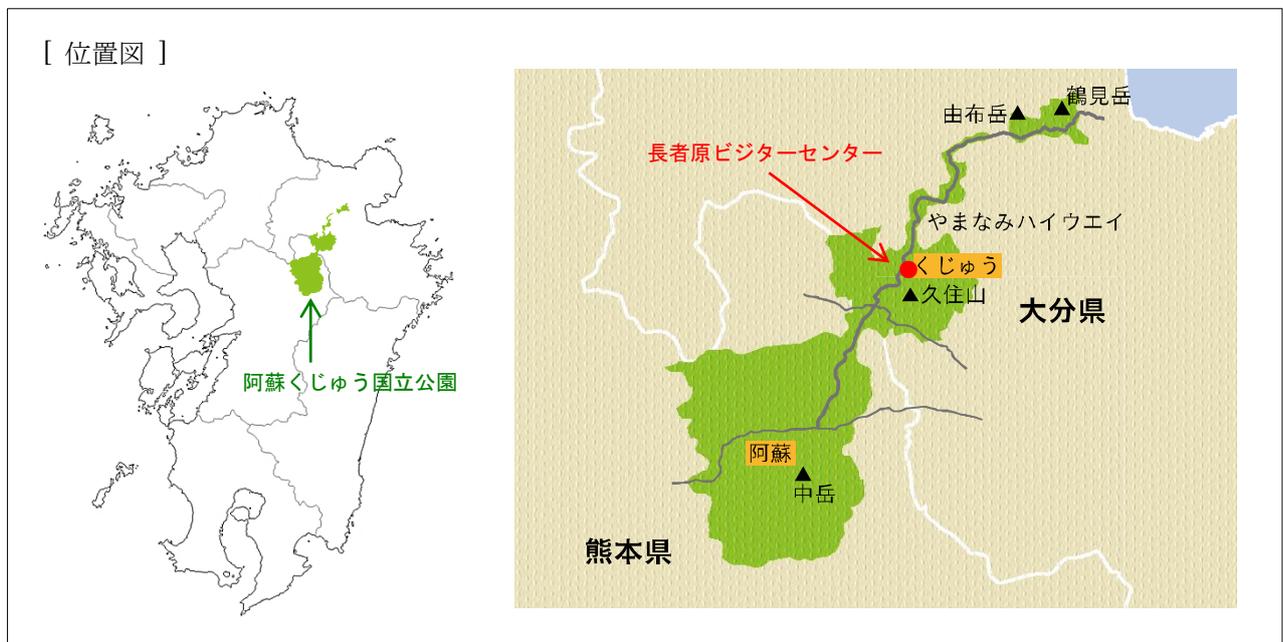
長者原ビジターセンターは、通称「やまなみハイウェイ」と呼ばれる、阿蘇と別府をつなぐ県道 11 号線沿いの大分県九重町長者原地区にあり、くじゅう地域の拠点施設として利用されている。センターの裏側には、タデ原湿原が広がり、設置された木道からは、四季折々の自然を肌で感じることができる。



くじゅう連山 (ミヤマキリシマ開花期)



タデ原湿原



阿蘇くじゅう国立公園

指定：1934 年（昭和 9 年）

公園面積：72,678ha（くじゅう地域 18,310 ha）

4. 運営体制

事務局

九重町役場 商工観光・自然環境課内

職員紹介（くじゅう地区管理運営協議会 事務局職員）

種村英大（たねむらえいだい） 事務局長

鳥越 遥（とりごえはるか）

山下由貴子（やましたゆきこ）

大島和伸（おおしまかずのぶ）

くじゅう地区管理運営協議会の構成

環境省、大分森林管理署、大分西部森林管理署、大分県、九重町、竹田市、九重の自然を守る会、大分県立社会教育総合センター九重青少年の家、九重・飯田高原観光協会、筋湯温泉観光協会、釜ノ口温泉観光協会、久住高原観光協会、学校法人福岡大学、株式会社おおいた観光サービス（オーベルジュ・コスモス）、飯田高原観光株式会社（長者原ヘルスセンター）、やまなみ観光株式会社（レストハウスやまなみ）、有限会社みやま商店、寒の地獄株式会社（寒の地獄旅館）、有限会社星生温泉（九重星生ホテル）、株式会社セイビ九州（ホテルやまなみ荘）、株式会社まきのとコーポレーション（九重観光ホテル）、九重ヒュッテ、株式会社エルランチョ・グランデ、有限会社牧ノ戸峠レストハウス（牧ノ戸売店）、九重町飯田農業協同組合（飯田高原ドライブイン）、有限会社法華院温泉（法華院温泉山荘）、有限会社くじゅう倶楽部、九重森林公園株式会社（九重森林公園スキー場）、株式会社橋本建設、株式会社ア・マ・ファソン（オーベルジュ・ア・マ・ファソン）、株式会社星野リゾート（界 阿蘇）、飯田高原デザイン会議、一般財団法人セブン・イレブン記念財団（九重ふるさと自然学校）、NPO 法人久住高原みちくさ案内人倶楽部、有限会社吉武建設（くじゅうやまなみキャンプ村）、NPO 法人くじゅうネイチャーガイドクラブ（敬称略・順不同）

くじゅう地区管理運営協議会賛助会員

九州横断観光株式会社（朝日台レストハウス）、九州電力株式会社（八丁原発電所）、九州林産株式会社林業部、福岡県中学校体育連盟、福岡県高等学校体育連盟（敬称略・順不同）



くじゅう地区管理運営協議会(くじゅうファンクラブ)

【事務局】九重町役場商工観光・自然環境課

【事務所】長者原ビジターセンター

【住所】〒879-4911

大分県玖珠郡九重町大字田野 255-33

【電話】0973-79-2154

【ホームページ】<http://kujufanclub.com/>

【Facebook ページ】<http://www.facebook.com/choujabaruvisitor/>

【入館料】無料

【開館時間】9:00～16:00 (5～10月は9:00～17:00)

発行 / 平成30年3月31日